

当社では完全データ入稿を原則としています。完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。完全データで入稿していただくことによって余分な工程を省き、お求め安い価格設定にしています。よく注意点を読んで、製作してください。
http://www.kasamart-stone.jp/flow/caution.html こちらに詳しい「ストーンファイル®印刷データ作成時の注意点」がのっていますので、こちらもお読みください。

研の珪華箋

珪華箋

玉の珪華箋

背表紙

表紙の天

表紙

このメモ紙は木材/パルプを使用せず、石(石灰石)を主原料としたストーン紙を使用しております。森林資源・水資源保護、CO2地球温暖化対策に貢献できます。

表紙の地

仕上がりサイズ W70×H100 (展開サイズ W70×H206 内筒表紙 6mm) (メモ表紙用のテンプレートです)
必ず確認してください
塗りたしと仕上がりについて ※図1
配置画像について
<ul style="list-style-type: none">画像は必ずCMYKモードもしくはグレースケールで作成してください。適正サイズは原寸サイズで350dpiです。これ以上解像度をあげても印刷の仕上がりは変わりません。
作成時のご注意点
<ul style="list-style-type: none">テンプレートを開き「別名保存」で、お画像のお使いのバージョンに保存し直してください。入稿の際は、PDF/A-4形式もしくはEPS形式で保存して入稿してください。レイヤーの「ご注意点」「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。「ここに作成してください」レイヤーに作成してください。
<ul style="list-style-type: none">仕上がり部分まで給稿がある場合は、仕上がり外側に3mm塗りたしをつけてください。 ※図1参照文字には必ずアトラインをかけてください。(フォント検査でフォントが表示されない状態)線の太さは0.2pt以上にしてください。ヘアライン (点のみの罫線) は印刷されません。必ず線設定をつけてください。プロセスで印刷の場合は、特色設定のない状態で入稿してください。切れてはいけない文字等は仕上がりより3mm内側にに入れてください。 ※図1参照K100%のみのデータにオーバープリントが適用されます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%設定してください。オーバープリント設定に関しては、お客様がモニターでご覧になっている状態を保証できませんので、ラックのみに適用してください。(全てのオブジェクトを選択し、オーバープリントを解除する。)裏面が必要な場合は、別シートとしてご入稿ください。片面印刷の場合は文字などが重なって見えにくくなる場合があります。ハターン機能を使用した場合、必ず「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿下さい。分割・拡張処理を行わないと、ハターン柄の位置がズレる可能性があります。

ストーンペーパーであることをPRするのに、この文言を入れておくことをおすすめいたします。

当社では完全データ入稿を原則としています。完全データとは、当社で手を加える必要のないデータのことです。

完全データで入稿していただくことにより余分な工程を省き、お求め安い価格設定にしています。よく注意点を讀んで、製作してください。

<http://www.kasamart-stone.jp/flow/caution.html> こちらに詳しい「ストーンファイル®印刷データ作成時の注意点」がのっていますので、こちらもお読みください。

天

左

右

このメモ帳は木材パルプを使用せず、石(石灰石)を主原料としたストーン紙を使用しております。
森林資源・水資源保護、CO2地球温暖化対策に貢献できます。

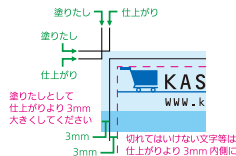
地

ストーンペーパーであることをPRするのに、この文言を入れておくことをおすすめいたします。

仕上がりサイズ W70×H100
(メモ本文用のテンプレートです)

必ず確認してください

塗りたしと仕上がりについて ※図1



配置画像について

- ・画像は必ずCMYKモードもしくはグレースケールで作成してください。
- ・適正サイズは最小サイズで350dpiです。これ以上解像度をあけても印刷の仕上がりは変わりません。

作成時のご注意点

- ・テンプレートを開き「別名保存」で、お客様のお使いのバージョンに保存し直してください。入稿の際は、PDF/A4形式もしくはEPS形式で保存して入稿してください。
- ・レイヤーの「ご注意点」「仕上がり」「トンボ」は変更禁止です。「ここに作成してください」レイヤーに作成してください。



- ・仕上がり部分まで鉛筆がある場合は、仕上がりより外側に3mm塗りをつけてください。
※図1参照
- ・文字には必ずアウトラインをかけてください。(フォント権限でフォントが表示されない状態)
- ・線の太さは0.2pt以上にしてください。
- ・ヘアライン(塗りのみ)は印刷されません。必ず線設定をつけてください。
- ・プロセッサーで印刷の場合は、特色設定のない状態で入稿してください。
- ・切れてはいけない文字等は仕上がりより3mm内側にしてください。
※図1参照
- ・K100%のみのデータにオーバープリントが適用されます。適用したくない場合はK100%+C1%など他の色を1%設定してください。
- ・オーバープリント設定に関しても、お客様がモニターでご覧になっている状態を保持してください。ブラウザのみに適用してください。(全てのオブジェクトを断り、オーバープリントを解除する。)
- ・裏面が必要な場合は、別データとしてご入稿ください。
- ・両面印刷の場合は文字などが重なって見えにくくなる場合があります。
- ・パターン機能を使用した場合、必ず「分割・拡張」の処理を行ってからご入稿下さい。分割・拡張処理を行わないと、パターン柄の位置がズレる可能性があります。